

雨の中、芝生苗を植え付ける参加者(麻里布町第二街区公園)



緑のじゅうたんになった麻里布町第三街区公園



6月15日、岩国駅前中央通り北側にある麻里布町第二街区公園で芝生苗の植え付けが行われました。

公園内の約1、900㎡の広場では、周辺住民など約50人が雨の降る中、カッパ姿で参加して、40cm間隔に直径10cmの穴を掘り、苗を入れて芝がしっかりと根付くよう軽く踏み固めていました。

約1万株を植え付ける予定でしたが、途中で雨足が強くなったため、約7、000株を植えました。

麻里布町第二街区公園 芝生化

たところで作業を中断し、残り3、000株は、後日植えました。

「公園芝生化モデル事業」は、市が管理する公園において市民協働の芝生化に取り組んでいます。公園を芝生化すると、公園で子どもが遊ぶことが増えるなど子どもの発育への効果、美観の向上、環境への効果などが期待できます。平成22年度に実施した麻里布町第三街区公園は、現在、一面が緑の芝生広場になっています。

岡都市計画課 ☎ 295161

緑の公園で遊びたい

市政 PICK-UP



▲秋には芝生でたくさん遊んでね

地球環境に優しい橋

6月28日「錦帯橋に見る日本の木の文化」をテーマに世界遺産講演会が市民会館で開催され、約120人が参加しました。

名古屋大学大学院教授の佐々木康寿氏が、ヨーロッパにおける近世から現代の木造橋を紹介し、錦帯橋の材料である木材がいかに酸素供給や二酸化炭素摂取において、地球環境に優しい材料であるのかを、他の材料と比較して分かりやすく解説されました。



▲熱心に聞き入る講演会参加者

世界遺産講演会・専門委員会

翌29日、市役所で錦帯橋世界文化遺産専門委員会が開催され、大学教授など約30人が出席して「暫定リストへの登録の可能性を探る」として審議し、今後の課題などが議論されました。

また、平成33年度からの次期架け替えに備えて、吉香公園内に約6mの錦帯橋と同じ構造の橋を設置して橋板止水実験をすることが報告されました。

☎ 295116
岡錦帯橋世界遺産推進室



▲景観のあり方などについて議論する委員

7月1日、左藤章防衛大臣政務官が市役所を訪れ、福田良彦市長や武田正之議長らに、普天間飛行場に追加配備されるM V-22オスプレイを載せた輸送船が7月最終週に岩国飛行場に到着し、12機が陸揚げされると伝えました。オスプレイは陸揚げ後、機体整備、点検、機能確認飛行、習熟飛行などを行うため、おおむね1週間程度、岩国飛行場に滞在するとの説明がありました。

防衛大臣政務官来岩

福田市長は「岩国への陸揚げが沖縄の負担軽減につながると一定の理解をしているが、住民の安全で平穏な生活を確保する立場からすれば、不本意」と述べ、岩国への滞在期間は必要最小限にすることや、日米合同委員会合意の遵守、訓練情報の事前の情報提供、オスプレイの飛行に関する全ての責任を政府が持つことなどについて左藤政務官に要請しました。

岡基地政策課 ☎ 295024

岩国への陸揚げを説明



▲陸揚げの説明をする左藤政務官(手前左)



▲説明を受ける福田市長、武田議長ら